

公益財団法人ハイライフ研究所主催

シェアダイニング

『情報活用による高齢者シェアダイニングの構築』

高齢者研究において、孤立化、コミュニケーション不足、食への関心低下といった問題が浮き彫りになってきました。



本セミナーでは、これらの問題解決の一助として、万人に通じる「食」をテーマに、高齢者とシェアダイニングについて、参加者全体で考える機会として開催いたします

ハイライフ研究所では「次世代高齢者研究」を進める中で、特にリタイアした男性高齢者の孤立が大きな問題であるという結果が出ています。そして「食」の満足が消費や普段の生活満足とも相関が高いという研究結果も出ております。

このような結果を受けて、本セミナーでは「シェアダイニング」についての取り組みをご紹介しますとともに、参加者の方々からもご意見やアドバイスなどをいただくこととし、より豊かな生活実現への一歩として、開催の運びとなりました。

※本研究プロジェクトは、JST 未来社会創造事業「世界の安全・安心社会の実現」領域「ヒューメインなサービスインダストリーの創出」における『情報活用による高齢者シェアダイニングの構築』（研究開発代表者：同志社女子大日下菜穂子教授、研究番号：JPMJMI18D6）への協カプロジェクトとして実施されます

プログラム：3月15日（金）開催

開場	13:00	*****
ご挨拶	13:30	ハイライフ研究所の研究とセミナー開催主旨のご説明 杉本浩二／公益財団法人ハイライフ研究所 上席研究員
講演 1	14:00	シェアダイニング構想&活動報告 日下菜穂子／同志社女子大学 現代社会学部 教授
講演 2	14:30	シェアダイニングと空間設計 小堀哲夫／小堀哲夫建築設計事務所 代表
休憩	15:00	*****（席のレイアウト変更など）*****
ワークショップ	15:20	ワークショップ（シェアダイニング形式で） 上田信行／同志社女子大学 現代社会学部 教授
結び	16:45	簡単な振り返り&クロージング（今後の予定紹介） 杉本浩二・日下菜穂子
終了予定	17:00	*****

～「シェアダイニング」の可能性の探求～

食をめぐる行動は、人の根源的なニーズを迫及する協働的な活動であり、世代を超えて伝えられてきた行為です。現代においては、高齢者の孤立、世代間の分断といったことでその特徴が失われつつあります。本プロジェクトでは、単に集まって食べるという行為だけでなく、調理体験や食の情報の活用、これらの情報発信などによる繋がり拡大、そして、健康や生活の質を向上させる食空間(シェアダイニング)の創出を目指しておりハイライフ研究所では、このような取り組みがもたらす価値、影響について、高齢者研究として取り組みます。

日時 ≫ 2019年3月15日(金)
13:30～17:00 (開場 13:00)

会場 ≫ 日本橋高島屋三井ビルディング 9階 日本橋ホール

料金 ≫ 無料 (事前申し込み：定員 50名)

主催 ≫ 公益財団法人ハイライフ研究所



参加申し込みについて

ハイライフ研究所ホームページの下記アドレスからお申し込みください。

info@hilife.or.jp

※会場の収容人数の関係で参加お断りすることもあります。御了承ください。

お問い合わせ

ハイライフ研究所セミナー事務局 (電話：03-3563-8686)